

研究名

当院のオキサリプラチンの血管痛に対するデキサメタゾン混注の実態調査

1. 研究の対象

2024年1月から6月に、済生会横浜市南部病院(以下、当院)外来にてオキサリプラチン(以下L-OHP)を含む化学療法を実施している患者のうち、L-OHPへデキサメタゾン(以下DEX)が混注されていた患者

2. 研究目的・方法

L-OHPは末梢静脈投与時に血管痛を発現することが報告されています。血管痛の発現機序は明らかになっていませんが、L-OHPを5%ブドウ糖液に溶解した場合のpHは血液のpHと比較して酸性側であることから、pHは血管痛の一因であると考えられています。制吐剤に混注されているDEXをL-OHPに混注することによりpHは血液のpHに近づくことで血管痛を和らげる効果が期待されており、当院においても実施されています。そこで当院のL-OHPの血管痛に対するDEX混注の現状について調査を行い、DEX混注前後の血管痛の有無をレトロスペクティブに調査し、考察いたします。

3. 研究に用いる情報の種類

電子カルテ情報(疾患名、身長、体重、検査結果、処方歴)その過程において氏名、住所など、患者さん個人の特特定が可能な情報は排除いたします。

4. 外部への情報の提供

研究結果は学会等で発表を予定していますが、登録された患者の個人情報個人が特定できないよう匿名化し、パスワードをかけて厳重に管理されます。

5. 研究組織

研究機関名：済生会横浜市南部病院

研究責任者：薬剤部 山口 琴子

6. お問い合わせ

本研究にご質問、または臨床研究の参加を希望されない場合は下記連絡先までお問合せください。

病院代表：045-832-1111

担当者：薬剤部 山口 琴子

薬剤部 加藤 一郎